

こ お ま

Vol.44

2008. 12

HIOKI Cit h // i hi kik hi j /

主な記事

- 平成19年度市の決算を公表します2
- 行政改革の進ちよく状況について6
- 平成21年度は固定資産税の評価替えの年です8
- 日置市少年補導センターが開設されました9
- 地域駅伝競走大会10
- まちの話題12
- 市民の広場22



平成19年度 市の決算を 公表します

市民の皆様にご納めていただいた税金や、国・県からの補助金などの歳入は、「地理的特性と歴史や自然との調和を生かしたふれあいあふれる健やかな都市づくり」を目指して、私たちの生活をよりよくするために様々な形で使われています。

このたびの12月議会定例会において、市の平成19年度決算が認定されましたので、地方自治法第233条第6項の規定に基づき決算状況を公表いたします。

■平成19年度に実施した主な投資的事業

- 団体営河川工作物応急対策事業頭首工整備（伊集院地域）
- 江口蓬菜館増築事業（東市来地域）
- 地方道路整備臨時交付金事業市道整備（市内全地域）
- 辺地対策事業市道整備（伊集院地域、吹上地域）
- 過疎対策事業市道整備（東市来地域、日吉地域、吹上地域）
- 広域営農団地農道整備（吹上地域）
- 公営住宅整備事業（紙屋敷公営住宅、中園住宅、新宮住宅、榎園住宅）
- 土地区画整理事業（徳重地区・湯之元第一地区）
- 防火水槽整備事業（東市来地域、日吉地域）
- 消防救急体制整備事業（市内全地域）
- 消防ポンプ自動車等整備事業（東市来地域）
- 伊集院中学校校舎建設事業（伊集院地域）
- 総合運動公園整備事業（東市来地域、伊集院地域）
- まちづくり交付金集会所建設事業（伊集院地域）
- 県営かんがい排水事業（日吉地域）

■市債の状況

平成19年度借入額	28億6,850万円
平成19年度末借入金残高	346億4,191万1千円

■平成19年度特別会計決算状況

会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	69億3,971万5千円	67億4,126万5千円	1億9,845万円
老人保健医療特別会計	82億6,476万9千円	82億6,476万9千円	0円
特別養護老人ホーム事業特別会計	2億9,360万5千円	2億6,764万7千円	2,595万8千円
公共下水道事業特別会計	6億4,150万7千円	6億2,611万1千円	1,539万6千円
農業集落排水事業特別会計	4,355万7千円	4,265万1千円	90万6千円
国民宿舍事業特別会計	2億9,525万2千円	2億8,935万2千円	590万円
国民保養センター及び老人保養ホーム事業特別会計	687万5千円	266万3千円	421万2千円
温泉給湯事業特別会計	715万円	465万6千円	249万4千円
公衆浴場事業特別会計	397万9千円	232万5千円	165万4千円
飲料水供給施設特別会計	57万2千円	32万4千円	24万8千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	540万2千円	500万8千円	39万4千円
介護保険特別会計	42億3,449万2千円	41億3,905万7千円	9,543万5千円

■平成19年度公営企業会計決算状況

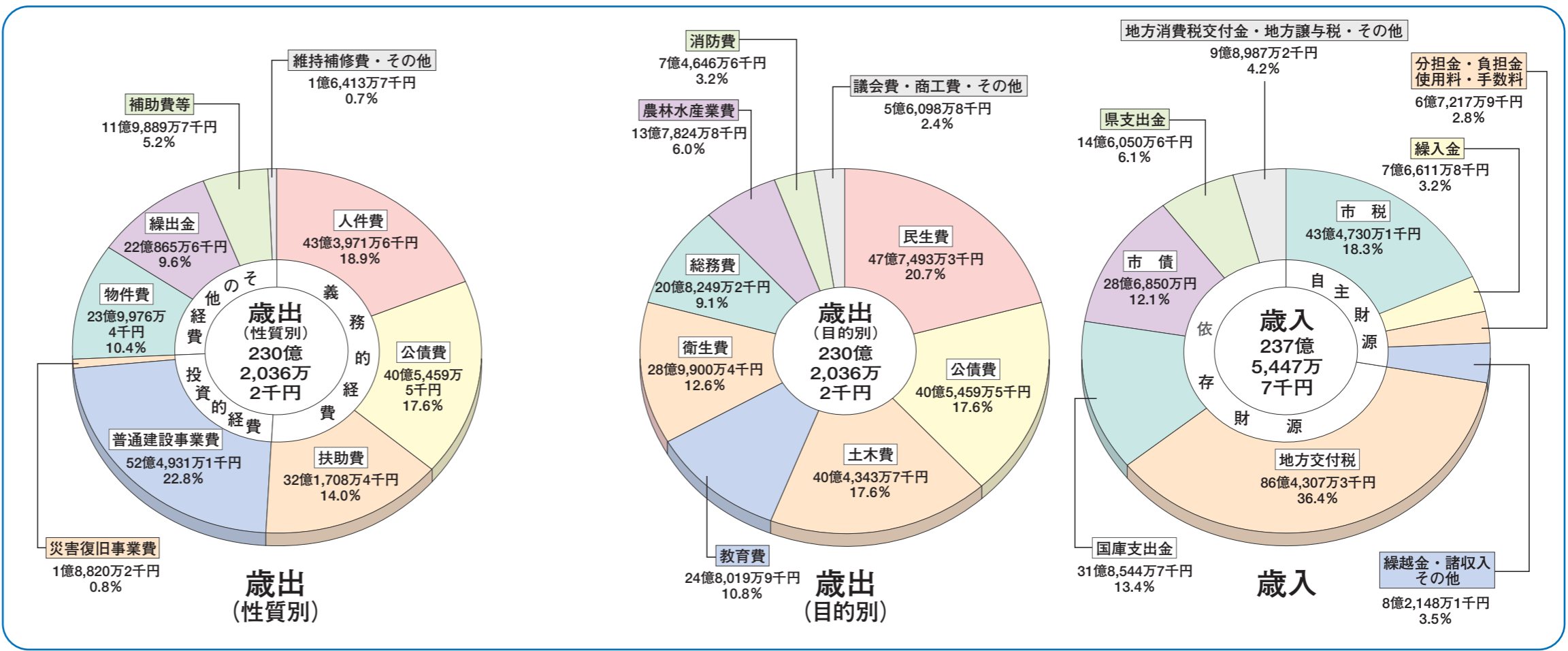
会計	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険病院事業会計	2億9,276万4千円	3億3,840万2千円	△4,571万8千円
水道事業会計	7億5,195万4千円	7億3,632万5千円	1,562万9千円

「民生費」が四十七億七千四百九十三万三千円で全体の二十・七％を占めています。これは、児童福祉、高齢者福祉及び障害者福祉などに関する支出で、子どもから高齢者まで安心して暮らせる福祉のまちづくりに使われています。次に多い「歳出（目的別）」が十八・三％を占めています。

市が自らまかなえるお金である自主財源（二七・八％）は、皆様に納めていただいた「市税」が十八・三％を占めています。

歳入の大部分は国や県などに頼るお金の「公債費」が二・二％とよばれるもので、過去の投資的経費の財源として借り入れた市債の元利償還金である「公債費」で、全体の十七・六％を占めています。

歳入の大部分は国や県などに頼るお金の「公債費」が二・二％とよばれるもので、過去の投資的経費の財源として借り入れた市債の元利償還金である「公債費」で、全体の十七・六％を占めています。



平成19年度普通会計 バランスシート・行政コスト計算書を作成しました

本市の財政状況を市民によりわかりやすく提供するため、減価償却費などの企業会計的な手法を取り入れた財務諸表として、平成19年度普通会計のバランスシート（貸借対照表）・行政コスト計算書（損益計算書）を作成したので公表します。

バランスシートは、地方公共団体の資産、負債等のストックの状況を明らかにするものです。一方、行政コスト計算書は資産形成につながらない行政サービスなどに要した経費の状況を表したものです。

地方公共団体においては、これまで歳入歳出決算書の「フロー（収支）情報」から「経常収支比率」、「財政力指数」等の財政指標により財政状況を把握してきましたが、バランスシートにより「ストック情報」を得たことで、年度末の一定時点における財政状況の把握が可能となりました。

なお、地方公共団体の公有財産台帳には、保有資産の評価額が記載されていないため民間企業の作成するバランスシートとは資産の積算方法が異なります。

バランスシート *資産総額は962億円 負債総額は394億円

バランスシートによると市が保有している資産の総額は962億円、負債が394億円、正味資産が568億円となっています。資産の内訳は、そのほとんどが道路や学校などの社会資本整備の結果を示す有形固定資産（減価償却後）が894億円で資産総額の92.9%（うち土地は17.8%）を占め、投資等28億円（投資及び出資金、貸付金など）残りが現金及び預金や基金、未収金などの流動資産が40億円となっています。

負債の内訳は、1年を超えて返済しなければならない固定負債が362億円、1年以内に返済しなければならない流動負債32億円となっており、負債の合計は394億円となっています。正味資産の内訳は、国や県からの補助金が189億円、市独自の財源である市税などの一般財源が379億円となっています。なお、負債・正味資産合計のうち正味資産は、59.0%を占めています。

平成18年度 (H19.3.31 現在 52,206人)		平成19年度 (H20.3.31 現在 51,886人)	
資産 963億円 (184万円)	負債 398億円 (76万円)	資産 962億円 (185万円)	負債 394億円 (76万円)
	正味資産 565億円 (108万円)		正味資産 568億円 (109万円)

() 書きは市民一人当たり

資産：資産とは、将来にわたり公共サービスを提供できる価値のこと（後世代の受けることのできるサービス）

負債：将来返済すべき債務のこと（将来の市民の負担額）

正味資産：資産と負債との差額のこと（これまでの市民の負担額）

行政コスト計算書 *行政コストは190億円 収入は191億円

バランスシートが市の資産や負債などのストックに関する情報を示すのに対し、行政コスト計算書は、人的なサービスや給付サービスなどの資産形成につながらない当該年度の行政サービスの提供にかかるコストの情報を示すものです。これは、民間企業会計の「損益計算書」に当たるもので、地方公共団体の場合は、「利益の追求」ではなく、住民福祉の増進を活動目的とし、税金や受益者負担を財源とする行政サービスがいかに効率的に提供されたか、「最小の経費で最大の効果を挙げる」ためにコスト側から分析するための表です。

行政コスト計算書によると、行政コストは190億円、収入は191億円、行政コストと収入との差引額は1億円となっています。行政コストの内訳は、職員の雇用などの「人にかかるコスト」が40億円、施設などの保守や維持補修の「物にかかるコスト」が69億円、他の団体への補助など「移転支的コスト」が72億円、災害復旧や公債費の利子返済など「その他のコスト」が9億円となっています。

収入項目の内訳は、公共施設の使用料など使用料・手数料等が18億円、国庫補助金などの国庫（県）支出金が33億円、市税などの一般財源の収入が140億円となっています。

平成18年度		平成19年度	
行政コスト 194億円 (37万円)	人にかかるコスト (行政サービスを提供する職員にかかる費用)	40億	40億
	物にかかるコスト (物の消費や施設の維持補修、減価償却に係る費用)	70億	69億
	移転支的コスト (社会保障制度に基づく扶助費や他団体への資金の移動)	74億	72億
	その他のコスト (災害対策や公債費のうち利子、不納欠損金など)	10億	9億
収入 190億円 (36万円)	使用料・手数料等	17億	18億
	国庫（県）支出金	31億	33億
	一般財源	142億	140億
収入コストの差引額 ▲4億円 (▲1万円)		収入コストの差引額 1億円 (0.2万円)	

() 書きは市民一人当たり

行政コスト：人件費などの「人に係るコスト」、物件費などの「物に係るコスト」、扶助費などの「移転支的コスト」、災害復旧費などの「その他のコスト」の合計

収入：収入を使用料・手数料、国庫（県）支出金、一般財源の合計

市民1人当たりの支出額(目的別) 総額 440,952円		市民1人当たりの市税負担額 総額 83,272円	
民生費 91,463円	公債費 77,665円	固定資産税 39,808円	
土木費 77,452円	衛生費 55,530円	市民税 36,677円	市町村たばこ税 4,440円
教育費 47,508円	総務費 39,890円	軽自動車税 2,293円	入湯税 54円
農林水産業費 26,400円	消防費 14,298円		

**市民一人当たり
約八万三千円を負担
市民一人に
約四十四万七千円を支出**

平成十九年四月一日現在の住民基本台帳人口（五万二千二百六人）で、市民一人当たり換算してみます。

歳入のうち「市税」は市民一人当たり八万三千二百七十二円の負担となりました。内訳は、全体の四七・八%を占める「固定資産税」がトップで三万九千八百八円、以下「市民税」が三万六千六百七十七円（四四・〇%）、「市町村たばこ税」が四千四百四十円（五・三%）となっています。

次に歳出を目的別にみてみます。市民一人当たりに使われるお金は、総額で四十四万九千五百五十二円となりました。最も多いのが前述したように「民生費」で九万一千四百六十三円、次いで「公債費」が七万七千六百六十五円、「土木費」が七万七千四百五十二円となっています。皆さんから納めていただく税金と、事業などに使われるお金では一人当たり三十五万七千六百八十円の差があります。この不足額の大部分が「地方交付税」や国・県からの支出金などでまかなわれることとなります。

日置市を一般家庭にたとえると…

市の平成19年度一般会計歳入歳出決算額を一般家庭の1年間の家計簿に置き換えてみました。給与・収入など家族で稼いだお金だけでは支出の全てをまかなえず、親からの援助や借金が必要な状況にあります。

収入			支出		
項目	金額	構成比(%)	項目	金額	構成比(%)
給与収入 (市税)	86万9千円 (43億4,730万1千円)	18.3	食費 (人件費)	86万8千円 (43億3,971万6千円)	18.9
パート収入及びアパートの家賃収入等 (使用料、手数料等)	20万5千円 (10億2,294万4千円)	4.3	光熱水費、日用雑貨 (物件費)	48万円 (23億9,976万4千円)	10.4
預金の取り崩し (繰入金)	15万3千円 (7億6,611万8千円)	3.2	医療費 (扶助費)	64万3千円 (32億1,708万4千円)	14.0
前年度からの繰越金 (繰越金)	9万4千円 (4億7,071万6千円)	2.0	ローンの返済 (公債費)	81万1千円 (40億5,459万5千円)	17.6
親からの援助 (地方交付税、国庫支出金等)	285万6千円 (142億7,889万8千円)	60.1	子どもへの仕送り (繰出金、投資及び出資金)	45万4千円 (22億7,159万2千円)	9.9
借金 (市債)	57万4千円 (28億6,850万0千円)	12.1	家の増改築費、自動車の購入費 (投資的経費)	108万8千円 (54億3,751万3千円)	23.6
合計	475万1千円 (237億5,447万7千円)	100.0	自治会費、サークル会費 (補助費等)	24万円 (11億9,889万7千円)	5.2
平成20年度への繰越金 [収入-支出] 14万7千円 (7億3,411万5千円)			定期預金 (積立金)	2千円 (899万3千円)	0.0
			家などの修理 (維持修繕費)	1万8千円 (9,220万8千円)	0.4
			合計	460万4千円 (230億2,036万2千円)	100.0

* 金額は、決算額を5000分の1の規模に圧縮し端数を調整したものです。

* () は、決算上の区分と決算額を表しています。

「26億4000万円」の効果

市では「日置市行政改革大綱」に基づいて平成18年度からさまざまな行政改革に取り組んでいます。平成22年度までの5年間の目標効果額をおおむね50億円と定め55のアクションプランに沿って進めている行政改革。今回は19年度までの2年間の効果について報告します。実績を踏まえ、見直しを行いながら、さらなる「改革」を推進します。



市では、平成17年度に策定した「日置市行政改革大綱」に基づいて、平成18年度から22年度までの5年間の具体的な取り組み方法となる、55項目の行動計画（アクションプラン）を定め、平成18年度から行政改革に取り組みんでいます。

その目標とする効果額は、平成17年度当初予算額と比較し、おおむね50億円。これに対し平成19年度までの効果額は26億4千9百万円となりました。**歳入**の効果では、市税の的確な確保および使用料・手数料などの受益者負担の適正化に努めてきました。また、新たな自主財源の確保

と、市民サービスの向上および地域経済の活性化を図るために、市の資産や発行情物等を広告媒体として有効活用することを目的として、有料広告事業を導入しました。

歳出の効果では、職員の定員適正化計画を定め、定員管理を実施、職員削減に努めてきました。また、補助対象事業のこれまでの実績や効果を検証しながら、補助金の整理統合に取り組みんでいます。さらに、指定管理者制度を導入し、平成20年4月で、30の公共施設で民間事業者等による管理運営を実施し、効率的な管理運営を推進しています。

55のアクションプランの進捗よく度

基本的な柱	進捗よく度					計
	早く進行	目標達成	ほぼ計画どおり	遅れている	かなり遅れている	
1 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織	1	7	5	1		14
2 定員管理および給与の適正化	5	2				7
3 自主性・自立性の高い財産運営の確保	2	8	5	2		17
4 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化		6	3	1		10
5 人材育成		1	1		1	3
6 電子自治体の推進			2			2
7 議会	1	1				2
合計	9	25	16	4	1	55

●55項目のアクションプラン進捗よく状況の詳細は日置市ホームページをご覧ください。

行政改革推進委員会を開催

市では、簡素で効率的な市政の実現を図るため、日置市行政改革推進委員会（会長 宮廻甫 允鹿児島大学教授）を設置し、行政改革の推進に関する調査、



審議などを行っています。十一月七日、今年度第一回の会議が開催され、行政改革行動計画（アクションプラン）の進捗よく状況や行政評価の取り組み、補助金の見直し状況について協議しました。市からのこれまでの実績報告に、委員からは「自治体を取り巻く状況が厳しい中で、これまでの取り組みは評価する」「今後も目標とする効果額の達成に向けて、しっかりとした取り組みを続けてもらいたい」といった意見が交わされました。

アクションプランにより実施した主な内容

- 行政ニーズへの迅速かつ的確な対応を可能とする組織**
 - 事務組織機構の見直しを進め、18年度の50課を20年度から42課に削減しました。
 - 年度当初に各課の経営方針を策定し、共通理解を図るとともに公表しています。
 - 本庁に総合案内員を設置し、市役所を利用する市民のサービス向上を図りました。
 - 市が政策等の策定にあたり、案を公表し、市民の意見を考慮していくパブリックコメント制度を導入しました。（男女共同参画基本計画ほかで制度を実施）
- 定員管理および給与の適正化**
 - 定員適正化計画に基づき、職員数の削減に取り組んでいます。（平成19年度までに47人の削減）
 - 特殊勤務手当の見直し（削減・廃止等）と特別職等給与等を削減しました。（市長△10% 副市長・教育長△5% 議員△3% 管理職手当を定額制後△10%）
- 自主性・自立性の高い財産運営の確保**
 - 有料広告事業を導入し、ホームページにバナー広告を掲載、またネーミングライツ（施設命名権）事業を導入しました。（小鶴ドーム）
 - 未利用土地・建物の売却、不用になった公用車等の売却を進めました。（約8千万円）
- 地方公共団体における行政の担うべき役割の重点化**
 - 指定管理者制度を導入し、平成20年4月で30施設において民間事業者等が管理運営を実施しています。
 - 地域協働を推進するために地区公民館制度を立ち上げ、全26地区にコミュニティ連絡所としての地区公民館を設置しました。
- 人材育成**
 - 職員研修計画を策定し、積極的な研修参加、資質向上に努めました。（平成19年度でチャレンジ研修として32科目に110人が受講しました。）
- 電子自治体の推進**
 - 地域情報化計画を策定し、情報化を推進、21地区公民館と3郵便局で住民票等の発行が可能になりました。
- 議会**
 - 議員定数を30人から22人に削減し、次回の市議会議員選挙から実施されます。

アクションプランに基づく行政改革効果額

歳入

（単位：千円）

アクションプラン項目	19年度までの	
	目標額	効果額
使用料・手数料の見直し	3,000	2,000
市税等公金徴収率の数値目標設定	17,058	660,175
未利用土地等の活用・処分	※①	81,965
合計	20,058	744,140

歳出

（単位：千円）

アクションプラン項目	19年度までの	
	目標額	効果額
補助金の整理統合	25,000	22,944
定員適正化計画の策定・公表	166,324	216,298
臨時職員・嘱託職員等の適正配置	15,710	△7,677
特殊勤務手当の見直し	5,269	3,767
特別職等の給料等の検討	※②	8,611
消耗品費等の削減	69,000	156,790
委員会・審議会等の整理統合	282	9,355
選挙投票区の見直し	4,000	※③
事業の厳選と優先順位の設定	856,000	1,470,140
指定管理者制度の導入	25,256	25,256
合計	1,166,841	1,905,484

※①②＝プラン作成時に目標額が定められていません。

※③＝見直しの検討中であり、結論は出ていません。

『日置市少年補導センター』が開設されました

少年の問題行動を未然に防止するため、学校、関係機関・団体及び地域の人々と密接な連携をとりながら、街頭補導、環境浄化、相談等の諸活動を行い、少年の健全な育成を図ることを目的に、「日置市少年補導センター」が開設されました。

少年の非行防止と健全育成を目的に
少年歩道センターは次の活動に取り組みます

1 街頭補導活動

- ① 市教育委員会から委嘱された「少年補導委員」が、市街地およびその周辺のたまり場になりやすい公園や神社等の巡回補導を行います。
- ② 街頭補導は、東市来、伊集院、日吉、吹上の各地域ごとに作成された街頭補導計画に基づいて、定期的を実施します。
※ 子どもたちの下校時刻に合わせて、夕方に実施します。



2 環境浄化活動

- ① ゲームコーナー設置店、カラオケ店等の遊戯施設に対し、少年の健全育成についての理解と協力要請に努めます。
- ② 書籍販売店（書店、コンビニ）およびレンタルビデオ店に対し、適切な陳列方法および表示についての理解と協力要請に努めます。
- ③ 子どもが利用する携帯電話およびパソコンへの「フィルタリング導入」を推進します。
※ PTAとも連携し、積極的な推進を図ります。
- ④ 有害図書自動販売機（成人向け雑誌、ビデオ等の自動販売機）の撤去運動および設置防止運動に取り組みます。



～ 市民の皆さまへのお願い ～

有害図書自動販売機を一旦設置してしまいますと、業者との契約期間が切れない限り撤去は難しい状況にあります。もし、業者から自動販売機設置の話を持ちかけられた場合は、まず販売物が何なのかをきちんと確認するなど、安易に契約を結ばないようご協力をお願いします。もし、個人での判断が難しい場合は、下記の少年補導センター事務局へご相談ください。

3 相談活動

少年の問題行動等に関する相談窓口を「日置市子ども支援センター」内に設けます。

TEL 099-272-2309 (直通) TEL099-273-2111 (内線1437)
相談受付時間…午前9時～午後4時 (月曜日～金曜日)

※ 子ども支援センターは、日置市教育委員会学校教育課内に設置されています。



● このほか、少年補導センターだより発行等の広報啓発活動に取り組みます。

<お問い合わせ先> 日置市少年補導センター事務局 (日置市教育委員会社会教育課内)
TEL 099-273-2111 [内線1432]

平成21年度は固定資産税の評価替えの年です

固定資産税は、毎年1月1日（賦課期日）現在で、土地・家屋・償却資産を所有している人が納める税金です。税額は、固定資産の評価額をもとに算出しますが、この評価額を3年に1度見直します。これが評価替えです。前回（平成18年度）の評価替えでは、合併直後であったため統一できなかった評価方法を、今回の評価替えで統一します。3回シリーズで掲載する2回目は、「宅地の税負担の調整措置」および「雑種地の評価見直し」についてお知らせします。

宅地の評価額と課税標準額について

宅地の評価額は、地価公示価格等の7割を目途に評価しています。この評価額が、そのまま課税標準額となるのが固定資産税の本来の姿ですが、本市を含めて多くの自治体ではそこまで達していません。そこで、課税標準額を評価額に近づける調整として、負担調整措置などがあります。

宅地の税負担の調整措置について

今回の評価の統一により、地区によっては評価額が上昇することがありますが、宅地には税負担の調整措置があり、価格が大きく上昇しても、課税標準額は毎年度新しい評価額の5%分を上限に、なだらかに上昇します。税額は課税標準額に税率（1.4%）をかけて算出し、評価額に対する前年度課税標準額の割合が一定割合を超えると据え置きとなります。

雑種地の評価見直しについて

土地の地目には、総務省が定めた「固定資産評価基準」において、田、畑、宅地、雑種地、山林、原野など9種類があります。これらのうち雑種地については、駐車場、資材置場などを中心に、他の8種類に該当しない多種の土地が含まれており、これまで旧町ごとの評価の方法に較差が見られました。来年度の評価替えでは、次のとおり雑種地の評価見直しを予定しています。

【定義】

雑種地A → 建物を建築する際に造成することなく建物を建築することができる土地で、周辺宅地のおよそ7割で評価する

(雑種地Aとなる土地の例)

- ・原則として登記地目が宅地以外で、整地がなされているもの、または整地を要しないと認められる場合
- ・普通住宅地区の資材置場、駐車場の場合
- ・舗装、砂利で地表面を覆っている場合
- ・農地として登記されているが、農地転用が許可されている場合 等

雑種地B → 建物を建築する際に造成することを要する土地で、周辺宅地のおよそ5割で評価する

(雑種地Bとなる土地の例)

- ・恒久的でない建物の敷地で、登記地目が宅地以外の場合
- ・建築確認が申請できる土地であり、周辺が宅地として利用されている場合
- ・農地として登記されており、農地転用許可が必要である場合 等

雑種地C → AおよびBまたは原野並みの雑種地に該当しない土地で、周辺宅地のおよそ3割で評価する

ご不明な点は、本庁税務課固定資産税係までお問い合わせください。
また、税金について、地域や団体で研修等されたい場合は、出前講座の制度がありますので、ご活用ください。
連絡先 電話 273-2111 (内線1112～1114)

圧倒的な強さで吉利体育協会Aチームが3連覇! 11/23 第40回 日吉地域駅伝 日吉地域一周



▲優勝吉利A ▲2位住吉A ▲3位川西A

スタート	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区	15区	順位	地区名	所要時間	
日吉総合体育館	今村商会前	建設課詰所前	(旧)江口漁協日吉支所前	老人福祉センター入口	日吉支所前	天司集落踏切跡	池上片野坂豊前	永吉坊野三叉路手前	扇尾小前	草見公民館前	笠ヶ野山之口バス停前	上日置バス停前	住吉五丁目橋	中牟礼小正酒店十字路	日吉総合体育館				
距離	1,500m	800m	2,200m	700m	800m	1,100m	2,300m	3,000m	3,200m	2,100m	800m	1,900m	1,400m	1,800m	1,100m				
住吉A	●															1	吉利A	1:29:47	
川東	●															2	住吉A	1:32:50	
吉利A	●															3	川西A	1:32:55	
川西A	●															4	川東	1:34:29	
日新	●															5	日新	1:37:19	
吉利B	●															6	吉利B	1:39:24	
扇尾	●															7	扇尾	1:43:31	
川西B	●															8	川西B	1:44:58	
住吉B(オース参加)	●																住吉B(オース参加)	1:41:18	
区間賞	(住吉A)山口孝之	(川東)徳永翔太	(川東)松元雅樹	(住吉A)有村仁汰	(吉利A)森永裕希乃	(吉利A)諏訪原鈴華	(住吉A)岡村斗志希	(扇尾)窪浩一	(吉利A)中山雄志	(吉利A)鍋谷憲作	(住吉A)前岡麻樹	(吉利A)鍋谷有作	(吉利A)野久尾美菜	(川西A)荷方勇介	(川西A)桑原健太郎				
	5分22秒	2分40秒	7分56秒	2分33秒	2分53秒	3分42秒	9分35秒	10分23秒	11分42秒	7分57秒	2分42秒	6分01秒	5分02秒	5分54秒	3分34秒				

湯田との接戦を制し、鶴丸が連覇! 11/16 第3回 東市来地域駅伝 東市来総合運動公園および遠見番山麓周回コース



▲鶴丸地区が先頭でゴールイン ▲接戦が続きます ▲6チームが一斉にスタート!

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	13区	14区	順位	地区名	所要時間	
距離	1,020m	1,020m	1,500m	2,600m	730m	890m	570m	1,020m	1,500m	2,600m	730m	890m	1,020m	570m				
湯田	●														1	鶴丸	0:59:01	
鶴丸	●														2	湯田	0:59:09	
上市来	●														3	伊作田	1:05:47	
美山	●														4	皆田	1:08:30	
伊作田	●														5	上市来	1:08:35	
皆田	●														6	美山	1:08:55	
区間賞	(湯田)木山翔太郎	(鶴丸)今田聖奈	(湯田)今田剛志	(鶴丸)高橋幸	(湯田)富奥慎二	(湯田)今田尚輝	(湯田)坂元亜由美	(鶴丸)松田智保	(湯田)木山志菜	(皆田)有馬拓美	(鶴丸)下野和樹	(皆田)富奥悠希	(伊作田)岡元祐子	(湯田)富奥勝巳				
	3分27秒	3分50秒	5分13秒	7分40秒	2分11秒	3分37秒	2分08秒	4分00秒	5分23秒	7分21秒	2分34秒	3分30秒	3分38秒	1分45秒				

花田Aが優勝! 11/9 第46回 吹上地域駅伝 南回りコース



▲花田Aが優勝 ▲あとは、たのみぞ ▲優勝目指してがんばるぞ

スタート	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	順位	地区名	所要時間
ふじの里	田之尻三叉路	今木場	錫山入口	平鹿倉公民館前	北平	助代	春尾橋	平鹿倉	笠岡公園前	宮内勝義宅前	吹上支所前			
距離	1,000m	1,800m	1,800m	1,400m	1,800m	1,500m	1,900m	1,900m	800m	1,800m	2,400m			
和田A	●											1	花田A	1:00:50
和田B	●											2	和田A	1:02:25
伊作北	●											3	伊作南	1:02:26
永吉B	●											4	永吉A	1:02:54
花田B	●											5	吹上	1:04:17
吹上	●											6	伊作北	1:05:50
伊作南	●											7	永吉B	1:08:32
永吉A	●											8	花田B	1:08:34
花田A	●											9	和田B	1:13:44
花田C	●											10	花田C	1:15:38
区間賞	(和田A)井上航平	(和田A)松枝拳	(花田A)高良昂宏	(伊作南)佐藤莉菜	(和田A)舞田達	(伊作南)樽野莉奈	(永吉A)下野純平	(花田A)有馬久光	(吹上)下園理恵	(花田A)宇田愛	(花田A)窪浩一			
	3分58秒	6分18秒	5分38秒	4分34秒	4分56秒	4分34秒	5分51秒	6分27秒	3分20秒	5分32秒				

妙円寺Aチームが優勝! 飯牟礼チームの追い上げ及ばず 11/16 第4回 伊集院地域駅伝 伊集院総合運動公園周回コース



▲優勝の妙円寺Aチーム ▲タスキをつなぐ朝日ヶ丘チーム ▲7チームが一斉にスタート!

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区	12区	順位	地区名	所要時間
距離	2,460m	2,460m	1,000m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	1,000m	2,460m	2,460m			
妙円寺A	●												1	妙円寺A	1:16:09
飯牟礼	●												2	飯牟礼	1:16:36
郡A	●												3	郡A	1:21:58
徳重東西	●												4	朝日ヶ丘	1:22:16
朝日ヶ丘	●												5	徳重東西	1:23:48
妙円寺B	●												6	妙円寺B	1:23:51
郡B	●												7	郡B	1:33:44
区間賞	(妙円寺A)田口哲	(飯牟礼)山下大貴	(妙円寺A)井上愛菜	(妙円寺A)今村萌	(妙円寺A)西村海志	(徳重東西)吉村和洋	(妙円寺A)上川竜一朗	(郡A)牧之角寛	(朝日ヶ丘)堤省吾	(飯牟礼)本村敬英	(飯牟礼)園田将二	(橋之口悟)橋之口悟			
	7分11秒	7分41秒	3分29秒	3分29秒	8分28秒	3分16秒	8分37秒	3分19秒	8分32秒	3分26秒	8分27秒	7分41秒			

より一層の相互理解を誓う

文化交流友好協力関係協約

十一月一日から東市来地域で「美山窯元祭り」が開催され、日置市との友好都市である大韓民国南原市のチェ・ジュンゲン市長、イ・ガンソク議長を招待しました。

歓迎セレモニー会場には、窯元祭りのお客さんや美山地区の方々などが集まり、会場を盛り上げました。また、セレモニーではチェ・ジュンゲン市長の日本語を交えながらのあいさつに会場からは大きな拍手があがりました。

その後、日置市中央公民館中ホールにて、日置市、南原市の名誉市民である十四代沈壽官氏の立ち会いの下に、「文化交流友好協力関係協約」を締結しました。



協約式では宮路市長が「文化・産業など多くの分野で交流を深めたい」とあいさつ。チェ市長も「日置市の風景や文化が南原市と似ている。友好関係を今後も深めたい」と話しました。

立会人の十四代沈壽官氏は「これからは行政だけではなく、交流の窓口を市民同士の友好親善に拡大していければ、今回の協約は輝かしいものになる」と今後の交流に期待していました。

今後も日置市では、国際交流員を活用しての小・中学校での授業や生涯学習講座の開設、青少年の交流事業、韓国文化体験ツアーの実施、南原市立国楽団の特別公演の開催など、市内全域に交流の輪を広げていきます。



「思いやりの心」・「かけがえのない命」を大切に

人権週間の啓発

鹿児島県方法務局、鹿児島人権擁護委員協議会および日置市では、美山窯元祭りにおいて、十一月二日、人権週間（十二月四日から十日）の啓発の一環として、チラシ、物品などの配布を行いました。

この日は、人権マスコット「まもる君」と「あゆみちゃん」も参加。マスコットと一緒に遊ぶ子どもたちの笑顔がとても印象的でした。

いつまでもこの笑顔を大切にしたいものです。また、人権擁護委員は、人々の大切な人権を守るため、各地域において人権相談を行っています。人権問題でお困りの方はお気軽にご相談ください。

連絡先
日置市市民生活課
電話099・273・2111
(内線 1144)

住民の憩いの場、自治公民館

備品活用交流会、センター落成式

コミュニティ助成事業を活用して購入した備品の活用交流会が麓下自治公民館で十一月八日、同事業を活用して建設された田之湯自治公民館の落成式が同月九日に行われました。

麓下自治会で自治会長が、備品のお披露目と活用説明の後、子どもから大人みんなで、綱引きやグランドゴルフを楽しんだり、血圧計、パソコン、液晶テレビに触れたりしました。田之湯自治会では、念願の公民館（コミュニティセンター）



▲麓下自治会



▲田之湯自治会



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

地域を守る青色灯

鶴丸地区安全パトロール隊出発式

鶴丸小学校で十月二十七日、鶴丸地区安全パトロール隊のパトロール車乗証交付式および出発式が行われました。

これは、地域で青色灯装着の資格を取り防犯のために、定期的にパトロールするものです。

日置警察署長がパトロール隊長（鶴丸地区公民館長）に委嘱状を交付し、隊長、署長のあいさつの後、児童代表の松田智保（小六）さんがお礼の言葉を述べました。



▲お礼の言葉を述べる松田智保さん

その後パトロール車は、児童に見送られ、地域防犯のために出発しました。



心の半鐘

半鐘の設置

中央通公園（伊集院）に十月十八日、半鐘が設置されました。これは、親子三代にわたり消防団員を務めていた、伊集院町



下谷口の鈴木俊孝さんが、半鐘を寄贈し設置されたものです。この半鐘は、五十年以上前、現在のN.T.Tの場所（伊集院町下谷口）にあった警察署の物見やぐらの上にあったもので、戦後消防団の警察からの分離や警察署の移転などで消防車庫に保管されていたものです。

鈴木さんは、「地域の方々の心の鐘として、また、町の活性化の一つになれば」と話されました。

安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して

日置市社会福祉大会

社会福祉に関する市民の理解と関心をより一層深めるため、「第四回日置市社会福祉大会」が十一月二十六日、伊集院文化会館で開催されました。

「安全で安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指して」のテーマで、民生委員・児童委員、社会教育関係諸団体、社会福祉施設及び福祉関係諸団体、一般市民の約三百名の参加がありました。

大会は、あづま保育園児の「あづま太鼓」で開幕し、長年、地域福祉に貢献された個人十四名と一団体へ表彰状が授与されました。

また、本年度の福祉作文コンクールの最優秀賞と優秀賞の四名の作文朗読、「いきいきサロンおじゃんせ会」の横内眞由美さんの活動発表がありました。活動発表では、地道な活動を続けていくことがいきいきサロンへの参加者を増やすことにつながっているとのことでした。

記念講演では、鹿児島県社会福祉会会長の久永繁夫氏が「高齢者虐待について考える」の演



▲久永繁夫氏の記念公演



▲横内眞由美さんの活動発表

薩摩焼きの里 観光客でにぎわう



▲ろくろ体験コーナー

第23回美山窯元祭り

美山窯元祭りが十一月一日から三日まで薩摩焼きの里美山で開催されました。

期間中、テレビ放映や今年三月三十一日から美山ICも開通した効果などにより、たくさん観光客でにぎわい、県外ナンバーの車も多数見られました。陶器を求めて散策する人、ろくろや手ひねり体験をする家族連れなど約十万人が美山窯元祭りを楽しみ、ステージ会場では、陶器のオークションで盛り上がりました。

物産コーナー新企画の、「もつと知ろうお隣り「韓国」」ブースでは、キムチ・のり・菓子の日韓食比べや、お茶の試飲・韓国の伝統的な音楽・遊びの体験・民族衣装の試着などを行い、大変喜ばれていました。



▲韓国伝統楽器のチャング



▲ステージ会場(吹上青松太鼓)

イベントで盛り上がりました



深固院祭り

第十六回深固院祭りが十一月十六日、扇尾地区深固院ふれあい広場で開催されました。郷土芸能の奉納や扇尾保育園の子ども太鼓、寸劇や踊りが行われ、飛び入りで参加される来場者もいるなど大変盛り上がりしました。また、「その昔、農民を励まそうと石屋和尚が落ち穂を拾い団子を作って食べさせた。和尚がこの団子を深固院団子と言ったことが、現在のしんこ団子の始まり」と由来のあるしんこ団子の香ばしい香りが会場でひろがり、多くの人が秋の一日を楽しみました。

テレビ生中継

NHK(BS2)おーい、ニッポン

鹿児島県の魅力を紹介するNHK(BS2)の番組「おーい、ニッポン」が十一月二日、放送されました。

日置市からは、大河ドラマ「篤姫」の音楽でおなじみの作曲家・吉俣良さんとタレントの山田まりやさんなどが出演し、伊集院文化会館から生中継。また、市中央公民館前広場では、かごしま自慢の食材を集めたイベント「うまいもん横丁」も開催され、大勢の人でにぎわいました。



宮崎を松明が照らしました



佐土原第2回「和・炎の祭典」

島津豊久公の縁で交流を深めている宮崎市佐土原町で十一月二日、第二回「和・炎の祭典」が開催され五千五百本の松明が夜空を照らしました。

これは、広瀬西小学校区地域づくり協議会、明るい郷土をつくる会、佐土原町商工会の三団体で共同開催したものです。松明に点火が始まると、あたり一面は幻想的な風景に。

イベント会場では、郷土芸能や小学生による白太鼓踊りなどの披露があり会場を埋め尽くした観客からは惜しみない拍手が送られていました。

また、山神の響炎実行委員会の久木崎委員長と吹上青松太鼓保存振興会の北野会長も祭りに招かれ祭りを堪能していました。

勇壮華麗に流鏑馬奉納



伊作流鏑馬奉納

鹿児島県の無形民俗文化財に指定されている伊作流鏑馬が十一月二十三日、大汝牟遅(おこなむち)神社で奉納されました。流鏑馬は天文(一五三八)七年島津忠良公が、加世田城攻めの戦勝を祈って奉納し、以来毎年継承されているものです。射手は高田利文さん(小野自治会)と益満太さん(浜田中自治会)の二人。交互に三回ずつ走りまわりました。時々小雨の降るあいにくの天候でしたが、矢が的に当たるたびに詰め掛けた観衆からは盛大な拍手や歓声が上がりました。

また、吹上浜公園体育館などでは流鏑馬行事体育大会も開催されました。



本場キムチを味わって!



東市来中央公民館で十月三、四日の二日間、国際交流員の李潞京(リ・ジュンギョン)さん

マレーシア料理に挑戦

マレーシア料理講座

吹上町マレーシア交流実行委員会では、今年八月に赴任した国際交流員のワンさんを講師に十月十二日、マレーシア料理講座を開催しました。

日置市内をはじめ鹿児島市や鹿児島大学の留学生など三十六人が参加し、日本の料理には使わないスパイスなどを使ったスパイシーなエビカレーと赤唐辛子を使ったサンバルという辛口料理、デザートはサツマイモを使った甘口のクエ・クリアという揚げ菓子を作りました。最後にできあがった料理をみ



マシツヨ!

第一回世界味の旅



東市来中央公民館で十一月十五日、料理講座「世界味の旅」が開催されました。

これは市が実施している事業で、食を通じて市民に世界を身近に感じてもらうことを目的に、各国の料理を全五回の日程で計画したものです。

一回目は韓国出身で市国際交流員の李潞京(リ・ジュンギョン)さんを講師に迎え、プルコギやチジミなど合計五品を調理しました。試食会で参加者は「短時間でこんな品数ができるとは思わなかった」「レシピに加えた。次回が楽しみ」と、残り四回の講座が待ち遠しい様子でした。

おいしいお茶を入れるには

お茶について学習

土橋小学校（伊集院）五年生と六年生の児童が十一月七日、お茶について学習しました。

この日は、日本茶インストラクターの長船（おさふね）由美さんから、鹿児島のお茶の概要について説明を受けた後、「お茶の甘さを引き立たせるためには、お湯の温度は七十度くらいが良い」「茶の葉をはかって急

須に入れる」など、お茶の入れ方について学び、さっそく実践しました。

また、自分で入れたお茶を飲んだ子どもたちは、「ちよつと苦かったけど、甘さもわかって、おいしかった。家に帰ってからも家族のために入れてあげたい」と話していました。



数の不思議

その道の達人授業

鶴丸小学校で十一月十四日、その道の達人授業がありました。これは各界で活躍する著名人を全国の学校に派遣し、達人が授業などを行うことで、子どもたちに学ぶことの意味や楽しさを伝え、学習意欲の向上を図る目的で文部科学省が委嘱した事業です。

今回の達人は「算数の楽しい授業の達人」芳沢光男氏で、ジャンケンで勝つ方法や誕生日当てクイズ、あみだくじ当てなど、身近な話題の不思議に着目した授業で子どもたちは熱心に聞き入っていました。

六年の赤崎杏奈さんは「算数は苦手だけど、すごく楽しかった。算数が好きになれそう」と話してくれました。

芳沢氏は「頭が良くなるにはどうしたらよいですか」との質問に「わからないことがあったら一生懸命自分で考えることも大切」と話していました。



登下校中不審者に遭遇したときの避難訓練が行われました。教室へ不審者が侵入したと想定した実技では、不審者を先生が防止し、その間に子どもたちは校庭へ避難しました。

避難訓練（吉利小学校）

吉利小学校で「小松帯刀家」古書展

小松帯刀家関係古書展

地域の方々に学校を自由に参観していただく「地域が育む」が

「かごしまの教育」県民週間（十一月四日から七日、九日の五日間）に、吉利小学校で小松帯刀家関係古書の展示会が行われました。

期間中、小松帯刀公が書いた手紙の下書きや小松清猷（きよもと）が十二歳のときの書など展示されました。

お仮屋跡（領主館）である吉利小学校には、大隅の地頭だつ



た祿寝（ねじめ）氏が、吉利へ封替えされたときに持参した手水鉢（ちよづばち）や、ろうそくをつくるために使われた垂蠟白（たるろうす）などもあり、多くの人が訪れました。

日置市各所で文化の秋

芸術の秋を堪能

伊集院地域文化祭・日置市芸術祭

伊集院地域文化祭が十一月三日、伊集院文化会館で開催されました。

舞台では、舞踊やフラダンス、バレエなどさまざまなステージで日ごろの練習の成果が披露され訪れた観客を魅了。

作品展示部門では、文化会館と市中央公民館ロビーに絵画や書道などの多くの作品が展示され大勢の人が鑑賞しました。市中央公民館前広場で行われた、かしい消費者大会では、

各種女性団体による青空市場や提供品販売・食事コーナーなどたくさんの人でにぎわいました。また、十一月九日には、日置市芸術祭が伊集院文化会館で開催されました。

文化会館ロビーには、各地域公民館講座の作品などが展示され、ステージでは、舞踊やコーラス・郷土芸能などの発表があり訪れた観客は、文化の秋・芸術の秋を堪能しました。



▲伊集院地域文化祭（フラダンス）



▲書道の展示に見入る観客



▲多くの人でにぎわう「かしい消費者大会」



▲日置市芸術祭（ダンス・日吉地域）

東市来地域文化祭



▲大正琴演奏



▲合唱

東市来文化交流センターで、十一月一日から四日までの四日間、第四回東市来地域文化祭が開催されました。期間中、大勢の市民が訪れ、センター内の東市来地域文化協会による文芸、生花、絵画などの作品を鑑賞していました。三日には、こけけホールで日本舞踊、マジック、居合道など二十二団体による芸能発表が行われ、多彩な演技に観客から拍手が送られました。

吹上地域文化祭

吹上地域文化祭が十一月一日から二日間、吹上中央公民館で開催され作品展示や、芸能発表を大勢が堪能しました。作品展示では、公民館体育館に所狭しと出品された作品が並んでいました。二日からは公民館ホールで芸



▲合唱

日吉地域文化祭

日吉地域文化祭が十一月二日、二日に日吉老人福祉センターで開催され、作品展示と芸能発表が行われました。会場には、子どもたちの絵や



▲日吉五ツ太鼓による演奏

書道、生け花、パッチワークなどすばらしい作品が展示されました。ステージでは、合奏やダンス、舞踊が行われ、日頃の活動の成果を発表しました。



▲作品展示コーナー



▲生花の展示

日置市の魅力ある農業を体験!

日置市担い手農家結婚支援事業



▲さつまいも収穫体験



▲美山での陶芸体験

独身女性との交流が少ない自身の担い手農家に、出会いの場を提供しようと十月十八日から十九日の二日間にわたり「ふれあい交流会」を開催しました。

参加者は、鹿児島市や薩摩川内市などからの女性二十二人、日置市内の担い手農家などの男性二十一人。

開会式では宮路市長が「女性参加者の皆さん、日置市の農業や観光を楽しんでいただき、心通う異性の方ができれば幸いです。この二日間を楽しんで有意義なものとしてください」とあいさつ。参加者は早速、みかん狩り体験やさつまいも収穫体験などを行い、さわやかな汗を流し

ていました。

交流パーティーでは、レクリエーションや自己アピールなどを行い、参加者全員が楽しい雰囲気の中で、会話を弾ませていました。

二日目は、薩摩焼の里美山での陶芸体験や窯元の散策をグループごとに行い、交流を深めました。また、幻の宰相「小松帯刀」の墓地の見学、江口蓬莱館での買い物などを楽しみ、江口浜荘で閉会式を行いました。

担い手農家の男性から「たくさんの女性と触れ合うことができて、大変有意義でした。意中の女性と出会えたので感謝しています」との感想がありました。

年に二度の大収穫祭

都市農村交流施設 Chest 館(伊集院) 大収穫祭が十一月十一日から十六日まで、同館で行われました。

期間中は、大収穫祭企画として、新鮮野菜・生花・果物の競り市や手作りバター体験、手打ちうどん・ソバの実演などが行われ、店内は連日お客さんで大にぎわい。

本イベントが行われた十五日には、「敏いとうとハッピー&ブルー」のボーカルかじの剛さんのステージショーや五百円以上のお買い物レシートで抽選会を開催。また、生活改善グループによる、生産者の方々の作った野菜を使用した芋だんご汁が振る舞われるなど、終日大勢の人でにぎわいました。



チェスト館大収穫祭

地域づくりの拠点の場として

伊作えびす家三周年祭



「伊作えびす家」の三周年記念のイベントが十一月九日、開催されました。

あいにくの空模様となりましたが、会場には大勢の人が詰め掛け終日にぎわいました。

匠の技のコーナーでは、傘の修理や、県下でもただ一人の職人となった竹細工の実演、組みもの実演販売もありました。

伊作えびす家は平成十七年十月にオープン。昭和三十年代の食堂を改装し、骨材には伊作村役場の解体材が使用されているとのこと。店内は休憩所兼交流スペースなどあり昔懐かしい昭和の雰囲気が漂っています。これからも地域づくりの拠点の場として発展していただきたいと思えます。

お楽しみ抽選会でにぎわいました

日吉地域産業祭



日吉老人福祉センター内ふれあいセンターで十一月二日、日吉地域産業祭が開催されました。各団体による地元産産物・竹炭・苗物の販売や、「とくとくひおき券」などが当たるお楽しみ抽選会があり、大勢の人でにぎわいました。



目指せ 全国大会優勝!

鹿児島城西高校サッカー部

第八十七回全国高校サッカー選手権大会で八年ぶり二回目の優勝を飾った鹿児島城西高校サッカー部が十一月七日、市長を表敬訪問しました。

市長は、「国立競技場を目指して頑張ってください」と激励。安田啓優主将は、「インターハイでは、ベスト8に終わり悔しい思いをしたので、今回は、優勝を目指して頑張りたいです」と力強く話しました。

鹿児島城西高校は、十二月三



十日から十一月十二日まで開催される全国大会に出場します。

地域が育む教育

はくく



ふれあい交流活動

上市来校区公民館(東市来)で十一月六日、上市来小五・六年の児童が高齢者とのふれあい

活動でグラウンドゴルフを行いました。

児童があちこちにボールを打つに対して高齢者は慣れた様子で児童に打ち方を教えながら触れ合っていました。

競技の後には、あずまやで湯茶タイム。児童がお茶やお菓子配ると、高齢者は満面の笑みを浮かべていました。

五年の福田幸龍君は「グラウンドゴルフは初めてでした。昼休みに遊ぶより楽しかった」、新村アヤ子さんは「子どもたちと楽しかった、若返ります。子どもたちの成長が楽しみです」と話してくれました。

下園君が見事優勝!

二〇〇八年度末広杯九州高校選手権新人大会が十月十八日と十九日、福岡県で開催され、下園悟士君(吹上町今田・加世田高校二年生)が五十斤男子背泳ぎの部で、27秒50という記録で見事優勝しました。

下園君は、小学校一年生から吹上地域にある「ゆーぷる吹上」のスイミングクラブに通い練習を重ね、今まで数々の大会で優秀な成績を修めてきました。

今では、選手コースのキャプテンとして後輩の子どもたちをリードしながら週六日間の練習にがんばっています。

「来年は高校最後の年なので、全国大会(インターハイ・ジュニアオリンピック)に出場したいです」と意気込んでいました。下園君の今後の活躍に期待したいものです。



末弘杯九州高校選手権新人大会

防犯願い、気迫の一本!

第2回日置地区防犯少年剣道錬成大会



日置地区防犯少年剣道錬成大会が十一月十五日、伊集院総合体育館で開催されました。

この大会は、少年剣士が一同に会し剣道を通じての親睦、心身の鍛錬、技術の向上および青少年の健全育成のために行われたもので、約百名の剣士が参加。団体戦の部、個人戦の部で競技しました。

選手たちは、日頃の練習の成果を出し合い、熱戦を繰り広げ会場を訪れた保護者などから大きな声援が送られました。

なお、今大会より西酒造株式会社、小正醸造株式会社、合資会社丸山喜之助商店から優勝旗が寄贈され、小・中学校団体戦、小学校高学年男子、中学校男子個人戦の部の優勝者にそれぞれ贈呈されました。



結果は次のとおりです。

【団体戦】

小学校団体

伊集院剣心館 A

中学校団体

伊集院剣心館

【個人戦】

小学校低学年男子の部

古川征矢(天昌剣道スポ少)

小学校低学年女子の部

福永らら(伊集院剣心館)

小学校高学年男子の部

日高 賢(伊集院剣心館)

小学校高学年女子の部

藏園実夕妃(上市来剣道スポ少)

中学校男子の部

柏木真宙(伊集院剣心館)

中学校女子の部

坂口秋恵(吹上中学校)

戸籍の窓

このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときに、お申し出ください。

伊集院地域

11月受付分(敬称略)

おめでとう

(出生児) 吉村遼太郎 孝喜 (保護者) 徳重東
東 霸玖翔 省吾 中福良
高橋いちな 一寿 猪鹿倉
高良彩華 高訓 妙田寺九区
濱田颯太郎 真一 妙田寺五区
夏迫実央 強 郡下
堀之内晴香 春一 朝日ヶ丘
小田原来愛 聖 朝日ヶ丘
永井悠翔 聡一郎 つじヶ丘区
田中聖也 誠 妙田寺三区
柿内快斗 智徳 中福良
中島あすか 俊之 猪鹿倉
前田颯太 和也 古城
遠矢杏樹 博貴 徳重東
遠矢樹里 博貴 瀬戸内
遠矢樹里 博貴 瀬戸内

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

伊集院地域

11月受付分(敬称略)

おめでとう

(出生児) 熊谷晴琉 光弘 (保護者) 笠ヶ野
吹上地域 若松 咲弥 直樹 (保護者) 下草田

(出生児) 馬場口アツ子 住吉 元吉 80
片平 ナミ 87 下養母下
前田 ワイ 87 上床
徳重 ユキ 96 北山

(出生児) 日吉地域 野口テル子 91 草原
島中 次生 49 日新
山下 茂 77 北区

(出生児) 吹上地域 坂元 シナ 97 入来浜
西園ノリ子 82 下和田
前原 セキ 89 東宮内
有馬キクノ 96 宮坂
平野 美好 83 上与倉
遠矢ツタエ 79 荳口
池田スミ子 87 赤仁田
馬場 彰一 56 小牧
佐土原淳子 78 永吉ふもと

東市来地域

11月受付分(敬称略)

おめでとう

(出生児) 山口 莉奈 修平 (保護者) 中央
植ノ原瑞章 秀雄 立和名
柿木 瑛蓮 祥吾 駅前

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

東市来地域

11月受付分(敬称略)

おめでとう

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

(出生児) 村上源市 秀吉 (故人) 永山 秀吉 (享年) 81 川北
江夏 長慶 (享年) 81 中央
永山 秀吉 (享年) 93 永山

健康情報 ひおき

シリーズ32

みなですすめよう!「元気な市民づくり運動」
～食・栄養編:「夕食後 飲食減らし 肥満予防」～
あなたの食生活、今、見直してみませんか?
-自分の健康は、自分で守る-


「健康かごしま21 鹿児島地域推進セミナー」が開催されました!
テーマ **健康は毎日の食生活や運動から**
～かごしま健康イエローカードキャンペーン(いちきアクアホールにて)～

【野菜による効果】:発育、発達の促進、メタボ予防、生活習慣病予防、老化予防など
【野菜の摂取目安】:毎食4種類くらいの野菜を片手に乗る分(約100g位)を目安に!!
(鹿児島純心女子大学 武 敏子先生講演より)

地域統一スローガン:甲斐克美さん(吹上)が受賞

お野菜は 心にやさしい ビタミン剤

【受賞の喜びの声】「思ってもいない事でうれしかったです。お野菜をたくさん食べて、人と接する時も心優しく接していきたいと思います」と、お顔からもやさしさがあふれていました。



▲甲斐克美さん
:食生活改善推進員

地域みんなで **“作ること”そして“食べること”**を楽しんでいます。


食生活改善に取り組む方々

ここに来るのが毎回楽しみ!みんな明るく、雰囲気もとっても良かです!!


日吉地域日新公民館で行われている「料理講座」。日新・二湯・山田の自治会で参加者を募り、月に1回実施しています。食生活改善推進員さんの協力により、みんなで調理方法を学んでいます。

【献立作りで気を遣っていることは?】
自宅に帰って誰もが作れる材料と調理法を選ぶこと。なるべく季節のもの、旬のものを取り入れること。生活習慣病の予防を考え、野菜を多く使った料理、そして出来るだけ薄味で。

【参加者の声】
*野菜を使った献立をたくさん教えてもらい、おかげでレパートリーも増えました!
*習ったものを家で作ると、夫も喜んでくれますよ!



今回料理講座でみなさんが作った5品の中から、『秋野菜たっぷり汁』を紹介します!



【材料】:4人分
ベーコン2枚 } A
ごぼう20cm }
人参10cm }
生椎茸4枚 }
えのき茸1束 }
塩・醤油・コショウ各少々 }
みつば少々・水4カップ }

① Aを3cmに千切り。ごぼうは水にさらし、あくを抜く。生椎茸は薄切り、えのき茸は4cmに切る。
② 鍋に①を入れ火にかけ煮立ったら2～3分煮る。
③ 塩・醤油・コショウ少々で調味し、みつばをちらす。

茶業功労者表彰


前鶴 憲一さん(伊集院)



前鶴さんは、旧伊集院町茶業振興会長をはじめ、日置地区茶業振興会副会長・県茶生産協会理事の要職に就かれ、地域のリーダーとして地域の茶業振興発展に尽力された実績が認められ、十一月十五日に行われた鹿児島県茶業振興大会において功労者表彰を受けられました。

功労者表彰

神之門 晃さん(日吉)



税務署長納税表彰

西ノ園純男さん(東市来)



平成二十年度税務署長納税表彰式が十一月十二日、伊集院税務署で行われました。これは、多年にわたり申告納税制度の発展と税務行政の円滑な運営に尽力された功績に対し表彰が行われるもので、伊集院税務署管内で二名の方が受賞され、日置市からは、西ノ園純男さんが表彰を受けられました。

神之門さんは、旧日吉町役場に昭和四十四年に奉職されて以来、主に農業に係る仕事に従事され、農家の資質向上に努力されました。また、平成十七年三月退職後も日吉町土地改良区で農用地の維持管理等に努められ、十月二十二日に行われた土地改良区五十周年記念式典で功労者表彰を受けられました。

ギャラリー 私の作品展
『生花』

田中 くみ子さん(63歳) 伊集院町清藤

花が好きで、生花を始めて40年以上になる田中さんは、現在、土橋地区公民館と郡地域で生花講座の講師をしています。「生花は、花材は同じでもモチーフのとらえ方や見方によって、表現も違ってきます」また、「花を生けたときは、自分なりの満足感が得られて、心が豊かになります」と田中さん。

8月には、吹上砂丘荘で吹上の窯元「松韻窯」と生花の合同展示会に出品し、たくさんの方に観賞してもらいました。「今後の目標は、九州花展や全国花展で入賞すること。これからも、草木の移り変わる四季を身近な生活の中に飾り、心豊かに充実した日々を送れるよう、日本の文化を伝えていきたいですね」





ウォッチまちの文化財 43

かいぞういん
海蔵院跡(吹上地域)



真言宗の寺院で、応永5(1398)年につくられ、明治の初めの廃仏毀釈で廃寺となりました。建物の規模では伊作郷(吹上地域南部)で最大であったとされています。

海蔵院を開いたのは、広範律師でそれ以後の住職は40代まで続きました。寺の石高は80石、末寺が11もある寺院でした。

伊作島津家(伊作を領有した島津氏の分家)10代当主忠良(後の日新公、1492~1568)は、母の梅窓院のすすめで、7歳から15歳まで海蔵院で8代住職頼増の教育を受けました。忠良は後に優れた武将となり、息子の貴久を島津家15代当主にするため活躍しました。忠良の孫の義弘・義久らは三州(薩摩・大隅・日向)を統一し、江戸時代の薩摩藩の基礎を造りました。

寺院の跡地には、歴代住職の石塔が倒壊し散乱していましたが、復元整備され、現在は70数基の石塔が立っています。五輪塔、宝篋印塔、月輪塔などの様々な形の石塔が残っています。

Access
車で、本庁から35分、吹上支所から5分


わたしの夢

わたしの将来の夢は、ケーキ屋さんになることです。わたしの家は、祖父母の代からケーキ屋をしています。だから、これまで守ってきた味を受けつぎたいと思ったのがきっかけです。ケーキを作って売っただけでなく、いろんなデザインを考へたり、今までにない材料を使ったりして、いろんなケーキにチャレンジしたいです。そのために、勉強をがんばり、たくさん知識を身につけた

日新小学校六年 馬場 恵莉菜さん

いす。また、パティシエ専門の学校に行っているような技術を学びたいです。わたしの作ったケーキを食べてくださったお客さんに「見た目も味も最高ですね」と言われるような職人さんになりたいです。さらに、いつもお客さんの声を大切にすることも忘れないようにしたいです。わたしの作ったケーキで、地域のみんが笑顔で元気になってくれたらいいな。

いきいきひと

シリーズ43

いつまでも元気で地域に貢献したい

田丸さんは、広島県で保健婦として勤務し、昭和五十四年に退職後、東市来町へ帰省されました。

日本芸術協会会員であり、和紙ちぎり絵の和紙人形の講師を習得していた田丸さんは、生涯学習の一環として、高齢者や子ども育成会、ふるさと学園でも教えました。

現在は、平成十五年に、脳梗塞で倒れて以来リハビリに専念していますが、「毎週一回デイサービスに出かけて、たくさんの人と話しするのが楽しみです。時々、ふるさと学園の生徒が訪問に来てくれますが、十年以上前に教えた学園生から「おばあちゃん先生」と声をかけてくれるのがうれしいです」と話します。

国際美術審議会の会員でもある田丸さんは、海外のコンクールでも和紙ちぎり絵で何度も入賞。今まで訪れた国は十カ国以上になります。

また、「これからの目標は、ちぎり絵の生徒さんに囲まれてNHKの番組『百歳パンザイ』に出演することです」と話します。

今年は、地元でねりんピックが開催されました。このねりんピックに自分も参加したい。何か自分にも手伝えることはないかと考え、「篤姫」と「小松帯刀」の「しほり人形」を八月下旬から十月下旬まで約二カ月かけて約千五百枚作成し、ウォークラリーの参加者にプレゼントしました。「この人形を作りながら、北海道から沖縄まで全国のどこに行くのだろうと思いつながら楽しんで作りました」と話す田丸さんの顔からは、達成感があふれていました。



たまる
田丸 シズエさん[88歳]
東市来町湯田(田之湯自治会)
●全国和紙ちぎり絵さつまグループ
代表相談役顧問

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)
⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画課企画課(住所は未だまでおぼくたさい)。

わんぱく直送便

原田 夕輝ちゃん(2歳5か月)
父 秀樹さん 母 明美さん (伊集院町郡)
■おかあさんから
笑顔がすてきな、夕輝君明るく元気になってね。

林 彩姫ちゃん(4歳5か月)
母 ゆかりさん (伊集院町下谷口)
■おかあさんから
素直で、優しい子になってね。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,254人(△1)
男 24,444人(6)
女 27,810人(△7)
世帯数 22,459 (3)
12月1日現在()は前月比

市の面積 253.06km²

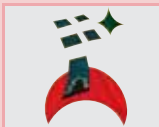
今月の表紙



大韓民国南原市長・議長が来訪!
大韓民国から南原市長、議長が日置市を訪問し、美山窯元祭りを見学されました。また、14代沈壽宮氏を立会人に迎え、南原市と文化交流友好協力協約を締結し、これからのより一層の交流を確認しました。

No.44 平成20年12月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899-2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099 (273) 2111
FAX 099 (273) 3063
東市来支所
TEL 099 (274) 2111
日吉支所
TEL 099 (292) 2111
吹上支所
TEL 099 (296) 2111
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古城は七百年程前から山城のあった所です。その城をシルエツトとして、描きました。

伊集院駅から南へ約三キロメートルに位置し、飯牟礼地区を形成する七自治会の一つ古城自治会。平成二十年十二月一日現在で六十三世帯、百六十六人が暮らしています。

伊集院地域の南、中山間地に位置する古城自治会は、お茶を中心とした営農が盛んで、従来から村づくり活動が活発な自然に恵まれた地域です。
ま た、運動会や花見、夏祭りなどの自治会活動は、地域全員が楽しんで参加できるように心がけています。
伝 統行事として、毎年十月の最初の丑(うし)の日にいう「田の神講」があります。これは、古城公民館から約五百メートル

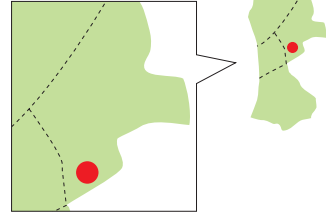


▲伝統行事の「田の神講」

集 落には、昔から受け継がれている井戸があります。現在は使われていませんが、水に大切にし、いつでも使えるように、毎年一回、清掃をしています。
育 成会活動は、現在、子どもが七人と少ないですが、毎月二回集落の有線放送設備を使って、本読み活動をしています。この活動は、五十年以上前から続いており平成十三年には、全国表彰を受けました。このほかにも美化活動として、遊休農地を活用したコスモスの植え付け

今 年、三月には、地域一体のために特定農業団体(古城・八枝アグリキャッスル)の指定を受け、転作田を活用し、大豆・そば・カボチャを栽培しました。これは、今後の自治会活動として想されますが、伝統を踏まえ、明るい豊かな住みよい環境を築くため、連帯感あふれる充実した地域を目指します。

わが地域



古城自治会
(伊集院地域)



▲片板美津男会長

古城自治会(伊集院地域)
シンボルマークの下に快適で住みよい環境を築く

離れた田を見下ろせる高台にある田の神像に餅を張り付けた後、向かい合った二人がくわえた、餅を引っ張り合いながら、五穀豊穡を祈願する行事です。
毎 年、十二月には、自治会で所有している山林の間伐作業の後、山神祭りをを行います。平成十九年には、地元の大山神社の鳥居も、この共有山林の木を使って建て替えをしました。



▲共有林を使っの鳥居の建て替え



▲育成会活動(コスモスの植え付け)